

令和6年度 朝来医療センター 活動報告

令和6年7月1日

1.但馬医療圏について

・兵庫県北部に位置しており、兵庫県全体に対して面積は25%で人口は3%。県内で最も人口密度の低い医療圏です。過疎化と高齢化が進んでおり、都市部に比べると医療資源の少なさや医師の偏在が課題となっています。豊岡病院が三次救急を担い、八鹿、朝来、香住、浜坂、村岡、出石が二次救急を担当しています。

2.朝来市の特徴について

・兵庫県のほぼ中央部にあり、市の84%を森林が占めている自然豊かな街で、立雲峡は桜の名所となっています。中世から近世の遺産も多く、竹田城跡や生野銀山が有名です。

3.朝来医療センターについて

- ・病床数：149床(一般104床+療養45床)
- ・院内常勤医師数：計8人(内科4人 整形外科3人 外科1人)
- ・養成医派遣数 初期研修：0人
前期派遣：4人
後期研修：0人
後期派遣：1人

- ・養成医派遣診療科：内科4人と整形外科1人

4.養成医派遣各科診療の特徴

[内科]主に亜急性期-慢性期を担当しており、4人の養成医師がそれぞれ主治医として10-18人程度の入院患者を受け持っています。定期外来(週2)、初診外来(週2)、救急外来(週3)、当直(月3)、待機(月3)程度です。また、希望によって週に1日、外病院での研修日を確保しています。

[整形外科]3人の医師で1グループとして入院患者を担当しています。定期外来(週3)、初診外来(週2)、当直(月4)、待機(月12)程度です。毎週火曜日と木曜日に主に骨折に対する手術も行っています。

5.地域医療活動・病院外活動等の特徴・実績

【診療所との連携】三浦クリニック、馬庭内科医院、小山医院、間島医院など

[診療所から当院へ]入院加療、CT検査、待機的な内視鏡検査の依頼

[当院から診療所へ]継続フォローの依頼

【他病院との連携】豊岡病院、八鹿病院、丹波医療センターなど

[当院から他病院へ]MRI検査、カテーテル検査、緊急内視鏡、緊急手術、専門治療の依頼

[他病院から当院へ]リハビリや退院環境調整の依頼

【施設診療】病院近隣の3施設(障害者支援施設/特別養護老人ホーム)に対し、診察と薬剤処方を行っています。

6.病院の推しをひとつ

・急性期病院と診療所の中間を担っています。患者さんの入院から退院後までの流れを把握しやすく、各医療機関の役割の違いについて知ることができます。

・症例はcommon diseaseが中心ですが、時に当院で対応できない急性期疾患や専門科疾患もwalk inや救急搬送で受診されるため、緊急性を見極める力が養われます。